

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 関ヶ原古戦場整備活用事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 関ヶ原古戦場整備推進課 環境整備係

電話番号：058-272-1111 (内 3074)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 40,000千円 (前年度予算額：80,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	80,000	0	0	0	0	0	0	0	80,000
要求額	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000
決定額	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国内外に高い知名度を誇る関ヶ原古戦場について、戦国をテーマとした広域周遊観光の核として整備し、観光資源として磨き上げを図る。

そのため、関ヶ原町が実施する受入環境整備、誘客PR、拠点整備、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを支援する。

(2) 事業内容

関ヶ原町が実施する、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みに要する経費の一部を助成する。

【補助対象経費】

関ヶ原町が実施する受入環境整備、誘客PR、拠点整備、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みに要する経費

【補助対象者】

関ヶ原町

【補助率・補助限度額】

- 補助率 県 2/3、町 1/3（誘客促進事業及び施設整備事業）
- 県補助限度額 予算の範囲内

（3）県負担・補助率の考え方

関ヶ原古戦場を核とした広域周遊観光の推進は、「岐阜県成長・雇用戦略」において観光産業の基幹産業化プロジェクトの筆頭項目に位置付けられており、県として重要度が高いことから、県補助率を 2/3 とする。

（4）類似事業の有無 有

戦国観光推進事業費補助金
(本事業との役割分担)

本補助金が関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを行う関ヶ原町を支援するのに対し、戦国観光推進事業費補助金は戦国武将をテーマとした広域周遊観光を促進する市町村の取組みを支援するものである。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	40,000	関ヶ原古戦場の整備活用に要する経費に対する助成
合計	40,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想中間見直し

1 新たな「成長・雇用戦略」の展開

（1）岐阜県成長・雇用戦略 具体的な施策②観光分野

○「おもてなし」の観光産業づくり ◇観光資源の魅力向上

岐阜県成長・雇用戦略 2017「観光産業の基幹産業化プロジェクト」

岐阜県観光振興プラン

（2）後年度の財政負担

令和 7 年度まで継続予定。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	関ヶ原古戦場整備活用事業費補助金
補助事業者（団体）	関ヶ原町 （理由）史跡関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みを支援するものであることから、国指定史跡の所在する関ヶ原町に限定される。
補助事業の概要	（目的）関ヶ原古戦場を広域周遊観光の核として整備すべく、観光資源として磨き上げを図る。 （内容）関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組みに要する経費の助成
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）県 2/3 （理由）県補助率を 2/3 とし、受益者負担を求める。
補助効果	関ヶ原古戦場が広域周遊観光の核として整備される。
終期の設定	終期 令和 7 年度 （理由）「グランドデザインに基づいた 2021 年以降（2021～2025）の関ヶ原古戦場に係る取組方針」に基づき、支援を行うため。

（事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

関ヶ原古戦場への来訪客数を、2025 年までに 30 万人に増加する。

※基準値：10 万人（平成 26 年）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26 年)	目標	目標 (終期)
① 関ヶ原古戦場来訪客数	10 万人	—	30 万人

	H26 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	80,000 千円	80,000 千円	(予算額) 80,000 千円	(要求額) 40,000 千円
指標①目標	10 万人	14.9 万人	16 万人	10 万人	(推計値) 万人
指標①実績	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

平成 26 年度に策定した関ヶ原古戦場グランドデザインに基づき、決戦地内にあるモニュメントの移設・撤去工事などの史跡整備、民間が主体となった特産品開発等を実施し、概ね予定どおりの成果が得られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

事業の推進にあたっては、2020 年度までにおおよそ完了した施設・古戦場整備の事業効果を高めるため、誘客 PR や受入環境整備など、ソフト面の強化を実施する必要がある。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価)

○

「グランドデザインに基づいた 2021 年以降（2021～2025）の関ヶ原古戦場に係る取組方針」は、関ヶ原町と岐阜県で協議した今後の取組方針である。実施主体は関ヶ原町ではあるが、これまで関ヶ原古戦場グランドデザインに基づいて県と町で協力して古戦場の整備・活用に取り組んできた経緯から、その取組方針に沿った取組について引き続き支援する必要がある。

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

関ヶ原古戦場への来訪客数は取組み開始前と比べ、着実に増加しており、概ね期待どおりの効果が得られている。

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価)

○

史跡の管理・整備主体である関ヶ原町への補助という実施方法により、関ヶ原町の主体性が保たれているとともに、作業や時間等の効率化が図られている。

(事業の見直し検討)

「グランドデザインに基づいた 2021 年以降（2021～2025）の関ヶ原古戦場に係る取組方針」に基づく取組に対し支援するものであるから、2025 年度まで支援を継続する。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

--